

# 「動詞+α」の8つの型

動詞はコト(事態)を語る際の中心になります。しかし、動詞だけで事態を語るわけではありません。動詞のあとにくる共演情報(α)が必要です。共演情報の配列の仕方が動詞の構文ということになりますが、このネットワークに含まれる8つの型が英語表現の基本です。それぞれの「動詞+α」に例文を加えると、動詞の文法の最重要部分を押さえることができます。

αにひとつの情報が入る場合は、名詞、形容詞、副詞、前置詞のいずれかです。そして、次のような組み合わせのパターンがあることがわかります。動詞のあとに何もはいらないのをA「動詞+0」とすると、他は次のようになります。

## A. 「動詞+0」

## B. 動詞+名詞 / 形容詞 / 副詞 / 前置詞句

## C. 動詞+名詞+名詞

## D. 動詞+名詞+形容詞 / 副詞 / 前置詞句

動詞の要素がαにくる場合も、次のような関係性がみられます。

## E. 動詞+to do / doing / do / done

## F. 動詞+名詞+to do / doing / do / done

また、名詞節を使って、次のふたつをつくることもできます。

## G. 動詞+that (wh) 節

## H. 動詞+名詞+that (wh) 節

上記をネットワーク化すると右ページのようになります。

## EXERCISE

日本語を参考にしながら、話者の気持ちになって、太字の動詞に続くカッコ内に適切な語句を続け、英語のやりとりを完成させてください。

(1)

A: I **intended** [ ] today because of my diet, but I couldn't.  
(お昼ご飯を抜いてダイエットするつもりだったのに、できなかった)

B: That's good. You should eat regularly for your health.  
(それでいいよ。健康のためには規則正しく食べたほうがいい)

(2)

A: Did you meet Maureen yesterday? (きのうモーリーンに会ったの?)

B: Yeah. I really **enjoyed** [ ] her until late at night.  
(うん。夜遅くまで一緒におしゃべりして、本当に楽しかった)

(3)

A: Ah, Mr. Yabe really frustrates me!  
(あー、矢部さんには本当にイライラするわ!)

B: Don't **get** [ ] on him.  
(やめて、あの人のこと言い出したら、私も止まらなくなるから)

(4)

A: **Allow** [ ] briefly. (簡単に自己紹介させていただけますか?)  
B: Sure. (もちろんです)

(5)

A: I didn't understand his lecture very much.  
(彼の講演内容、よく理解できなかったな)  
B: His point **was** [ ] an adequate return on investment.  
(論点は、我々は適切な投資利益を上げる必要があるってことだよ)

## 「動詞+α」のネットワーク

A. 動詞+0 It all **depends**. すべて時と場合によりけりだ。

B. 動詞+  
名詞 I **opened the door**. ドアを開けた。  
形容詞 I'm just **fine**. 私は大丈夫。  
副詞 She **lives alone**. 彼女はひとりで暮らしている。  
前置詞句 She **looks in a gloomy mood** today.  
彼女は今日は憂鬱そうだ。

C. 動詞+[名詞+名詞]  
He **sent her an email**. 彼は彼女にeメールを送った。  
Don't **call me a liar**. 私を嘘つき呼ばわりするな。

D. 動詞+名詞+  
形容詞 You don't have to **make things difficult**.  
わざわざものを難しくすることはないよ。  
副詞 He **left his son overseas**.  
彼は息子を海外に残した。  
前置詞句 She **put the dishes on the table**.  
彼女は皿をテーブルに置いた。

## 動詞+α

E. 動詞+  
to do Don't **forget to call** me tonight.  
今夜忘れずに私に電話してね。  
doing Would you **mind waiting** here a while?  
ここでお待ちいただいてもかまいませんか。  
done Let's **get started**.  
じゃあ、はじめましょう。

F. 動詞+名詞+  
to do I **want you to do it**. あなたにそれやってほしい。  
doing Let's **keep it going**. それをずっと続けよう。  
do I'll **make him do it**. 彼にそれをさせよう。  
done I'll **get the car started**. 車を発車させよう。

G. 動詞+[that 節 / wh 節]  
The problem is **that nobody finds that**.  
問題は誰もそれに気づいていないことだ。  
I **don't know what will happen in the future**.  
将来、何が起きるかわからない。

H. 動詞+[名詞+ that 節 / wh 節]  
She **told us that she had been wrong**.  
彼女は私たちに自分は間違っていたと言った。  
She **asked us what she should do next**.  
彼女は私たちに次に何をすべきか尋ねた。

(6)

A: Our Osaka office will be closed next month. I didn't expect it at all.  
(うちの大阪事務所が来月、閉鎖されるなんて。寝耳に水だよ)

B: We don't **know** [ ] next. (次に何が起きるかわからないな)

(7)

A: Could you calculate this and **see** [ ] our budget for the next quarter? (これを計算して、次の四半期の予算をどのくらい増やせばいいか出してくれますか?)

B: OK. I'll work on it immediately. (わかりました。すぐにやります)

(8)

A: I can't open this file. Is it too big?  
(このファイル、開けないんだ。大きすぎるのかな)

B: It doesn't **matter** [ ]. Maybe it's the file.  
(ファイルの大きさは関係ないよ。たぶんファイルの種類が問題なんだろう)

(9)

A: I have to go now, so could you **inform** [ ] by e-mail later?  
(もう行かなくちゃいけないの。後でメールで詳細を教えてくださいませんか?)

B: Sure. No problem. (わかりました。そうします)

(10)

A: Could you **ask** [ ] not to have a meeting today?  
(ボーラに、きょう会議をやるのかやらないのか聞いてくれますか?)

B: Didn't you see the e-mail from her? The meeting was canceled.  
(彼女からのメール、見てないの? 会議はなくなったよ)

## 解答・解説

### 「動詞＋α」の8つの型

#### ■ Training

正解：(1) to skip lunch (2) talking with (3) me started (4) me to introduce myself (5) that we need to achieve (6) what will happen (7) how much we should increase (8) how big the file is (9) me of the details (10) Paula whether or

解説：(1) の intend は、to 不定詞を目的語にとれるが動名詞はとれない。(2) の enjoy は、動名詞を目的語にとれるが to 不定詞はとれない。(3) の Don't get me started (on...) は定型表現のひとつで、「私に（……についての）話を始めさせないでくれ」つまり「（……については）言いたいことが山ほどある」ということ。(6)(7)(8) は「動詞＋wh 節」のパターン。(10) は「動詞＋[名詞＋wh 節]」の形のひとつで、whether or not to... は「……するかしないか」の意味。